

M E S S A G E

地図トモ

小学校の何年生のときだったか。何気なく日本地図を眺めていて、突如、発見した。地名に「津」の字がつくところは、決まって水辺にある。大津、津、唐津、魚津…。ために「津」のつく地名に鉛筆で丸をつけてみる。おお、思いの外たくさんあるではないか。あ、でも草津は内陸だなあ。温泉を水辺とは言わないかな。柳津というのも内陸…。昔は海沿いだったのかしら。でもまあ、概して海辺や湖の畔が多い。これはすごいぞ。私はなんと偉大な発見をしたのかと、得意になって友達に披露したところ、

「当たり前じゃん。津って、船着き場の意味だもん。水辺になきゃおかしいんだよ」

物知りの男の子に冷たく言われ、がっかりしたのを覚えている。

しかしそのとき以来である。地図は眺めているだけで、いろいろな発見があることを思い知った。

旅に出て、見知らぬ町に着くと、私はなるべく早くその土地の地図を手に入れるようにしている。せわしない仕事の旅をするにつれ、訪れた土地について何も知らずに去ることがよくある。空港、あるいは駅に着き、そこから車で目的地へ向かい、地元の人に案内されるまま、移動し、ホテルに入り、翌朝ホテルを出てまたターミナルへ行く。ではさようならと別れを告げるとき、私はこの土地のどこを見てきたのか、ほとんど理解していないことに気づく。

本当は自分の足で町を歩き回るのがいちばんだ。歩いて初めて土地勘を得る。駅がその土地の東西南北どこらへんに位置するか。繁華街から港や山までの距離

はどれくらいか。と、足で確かめながら知ることが、旅の大きな楽しみとなる。が、それがままならないとき…、時間の制約があったり、車で移動せざるをえなかったり、そんなときはせめて地図で、今、自分のいる位置を、今、自分が向かっている方角を確かめておきたいと思う。そのときに地図はかかせぬ友となる。

今、自分の車にはカーナビゲーションを設置している。目的地を入力し、行き方を音声でリードしてくれるこの機械はしかし、ときどきとんでもないことを言い出す。

「左折をしろですって？まっすぐ行ったほうが近いと思うけどなあ」

天の邪鬼な私はカーナビの言うことに逆らってばかりいる。どうも信用ならぬフシがあるからだ。多少、機種が古いせいかたとえば白金(しろがね)のことを「ハ

阿川佐和子

AGAWA Sawako

■経歴：

1953年東京生まれ。

1976年3月：慶應義塾大学文学部西洋史学科卒業。

1981年秋：TBSテレビ「朝のホットライン」のリポーターとして、フランスへ取材に行く。

1983年10月～89年9月：TBSテレビ「情報デスク Today」のアシスタントキャスターを務める。

1989年10月～91年9月：同局「筑紫哲也NEWS23」アシスタントキャスター。

1992年2月末～93年2月末：アメリカ、ワシントンDCへ遊学。

1993年4月～94年9月：TBSテレビ「報道特集」キャスター。

1995年4月～95年9月：NHK総合テレビ「私のとっておき」で司会。

1998年5月～01年4月：大阪帝国ホテルにて「阿川佐和子のこの人にもう一度会いたい」トークショー開催。

2000年10月：映画初主演。「カラフル」で母親役を演じる。

委員等

J-WAVE 番組審議会委員 三井住友海上文化財団評議委員

現在の主な執筆、その他連載

○文藝春秋「週刊文春」にて 対談「阿川佐和子のこの人に会いたい」連載中。

○UFJカード月刊誌「ネオ」にて「まあ、まあ、まあ」随筆連載。

○新潮社「小説新潮」にて「三人のスープ」小説連載。

○季刊誌「ワイン王国」にて「アガワとダンの幸せになるためのワイン修行」壇ふみと対談連載

○テレビ朝日「たけしのTVタックル」にてレギュラー出演中。

○BSフジ「無意味良品」にてレギュラー出演中。

○地方FMラジオに大竹まことと出演中。

著作

第1冊「笑ってケツカッチン」(エッセイ) 筑摩書房～42冊目「空耳アワワ」(エッセイ) 中央公論新社(3/25日刊行予定)



ッキン」と言ったり、下馬(しもうま)のことを「したうま」と言ったり、それだけではない。目的地近辺に来てなお、迂回をして別の道を行けと言いつつものだから、私はしょっちゅうカーナビと口論を交わす。あげくは「もうこんなもんいらぬわい」と叫ぶのだが、なぜか取り去ることができない。

理由は自分でもわかっている。我がカーナビは、道順指導の素質は希薄ながら、地図としてはじゅうぶんに運転手の役に立ってくれているからだ。今、自分が向かおうとしている場所が、自宅とどういった線で結ばれる関係か。この信号の次の次ぎに出てくる道はなんという名の通りであるか。カーナビ地図とともに走るドライブは、なかなか捨てがたい魅力に満ちているのである。

ジオラマ東京：発行/(株)ジェオ(GEO), Artist 黒澤達矢